



勇気の一歩を踏み出せる人に

最近になって、ようやく朝夕に涼しさを感じるようになりました。それにしても、今年の夏は、本当に暑かったですね。ニュースでは「災害級の暑さ」などという言葉も聞かれるほどでした。

災害と言えば、先週末に、南海トラフ地震が今後30年以内に起こる確率が見直され、高い確率でいつ起きてもおかしくない状況と注意喚起されました。実際、トカラ列島の群発地震が発生したり、ロシアのカムチャツカ半島で起こった大地震による津波が来たりと、日本が地震大国であることをあらためて感じさせられる出来事が続いています。また、最近は地震だけでなく、突然の風水害も頻発するなど、災害は日常と隣り合わせという言葉は本当だなと思います。

天王寺小学校では、防災教育の一環として、毎学期行う避難訓練の他に、「子ども総合防災教室」に取り組んでいます。今年も防災月間中の9月12日に、それぞれの学年で実施しました。

今回、1年生から3年生までは、天王寺区役所の方にお越しいただいて、防災クイズやゲームを通して、地震や津波から身を守る方法を学びました。区役所の皆さんには、毎年来ていただいているが、少しづつ内容を変えることで、子どもたちが楽しく学べるように工夫してくださっています。そして、災害時の非常食であるアルファ化米^{まい}を試食しました。アルファ化米も毎年試食していますが、今年は、わかめご飯から炊き込みご飯風のきのこご飯に変わりました。私も、少し食べてみたのですが、このご飯は凄いです。^{すこ}水やお湯を入れただけなのに、本当に炊いたのではないかと思えるくらいしっかり味がしみ込んでいるのです。とてもおいしくて、非常食の進化に驚きました。



また、4年生と5年生は、阿倍野防災センターにある「あべのタスカル」に見学に行きました。何度も行ったことがある子もいると思いますが、歩いて行けるところにこうした施設があるのも天王寺小学校の良さです。ちょっと距離はありますが、災害時は徒歩での移動しかできないこともありますので、これも訓練の一つだと思って、頑張って歩いてもらいました。震度7の地震体験は、何度経験しても地震の恐ろしさを感じることができたでしょう。

そして、今年は6年生に特別授業として、心肺蘇生法などの救命救急講習を行いました。「小学生が心臓マッサージをするの?」と思う方がいらっしゃるかも知れませんが、6年生の子どもたちは、あと半年もすれば中学生になります。災害が起こった時、中学生は被災者支援の役割を

期待されており、実際、災害時に避難所で中学生が活躍した事例がいくつもあります。

これまで小学校の防災教育では、自分の身を守ることを中心に、守られる側の「**自助**」の学びをしてきましたが、これから中学生になる6年生には、守る側の「**共助**」の意識を持ってほしいと思ったのが一番の理由です。この授業は、そのきっかけになればと思い、取り組んでみました。

今回は、私が講習できる資格を持っていることから、消防署から胸骨圧迫の訓練道具や訓練用のAEDなどを借りて、授業を行いました。授業の中で子どもたちは、心停止で亡くなる人が全国で学校だけで毎年50人もいることや、胸骨圧迫では、胸を5cmも押し込む必要があることに驚いていました。実技をすると、胸骨圧迫は結構力が必要で、続けるのに苦労していました。また、AEDの操作では、実際の操作音声を聞くことが初めてという子も多かったようで、新しい経験ができたのではないかと思いました。



授業後の感想では、「もし、自分が本当にそういう場面に出くわしたら、ちゃんと動けるのかなと思った。」と、素直な感想を言ってくれた子がいました。実にもっともな感想です。私も、目の前に死にかけている人がいれば、動くのに一瞬ためらってしまうかもしれません。しかし、その時に、もし勇気を出して行動を起こすことができれば、そのまま放っておいたら亡くなる人の命が助かるかもしれないのです。この授業での体験を通して、子どもたちが、将来もしもの時に勇気の一歩を踏み出せる人になってくれたらなあと思いました。(もちろん、まず自分自身の安全を確保するという事を、最初に指導しています。)

学校での総合防災教室は終わりましたが、来年の1月には、天王寺連合地域活動協議会の災害対策訓練が学校で行われます。(後日学校を通じて案内のお手紙を配布する予定です。ぜひご参加ください。)南海トラフ地震が未だ起きていないことは、裏を返せば発生に一步近づいているとも考えられます。もしもの時に備えて、これからも天王寺小学校や天王寺地域が、防災意識の高い学校や地域であってほしいと願っています。

今年も開けます、オープンスクール

先日お手紙でお知らせしたとおり、昨年実施した学校を一日開放するオープンスクールを今年も実施します。ご都合の良い時間にお越しいただき、お子さんが学校で過ごしている普段の様子をご覧ください。できるだけ子どもたちの日常を観ていただきたいので、当日先生方には、



特別な事は何もしないでくださいとお願いしております。(とは言え、ちょっとくらいはいつもと違うかも知れませんが…。)もっとも、子どもたちにとっては、お家の方や学園の先生方が来てくださる、観てくださる、というだけで、すでに特別な日になっているように思います。どうぞごゆっくりご参観ください。